

# 幾何公差・最大実体公差<sup>Ⓜ</sup>図面の読解

2016年3月の幾何公差に関するJIS改正に伴い、モノづくりの規格である「製品の幾何特性仕様（GPS）」への早期対応を製造企業に促しています。国外ではGPSが既に普及していますが、日本ではこれまで寸法公差で図面を描いてきたので、現在でも寸法公差で形体を定義している図面が見受けられます。GPSで描かれた図面はデータム（基準）が明確で図面の解釈が一義的です。そこで本訓練コースでは幾何公差を学習しグローバルな機械図面について学びます。

- 講座開催日……………【1回目】令和6年8月19日(月)、20日(火)  
                                      【2回目】令和7年2月25日(火)、26日(水)
- 対象者……………機械設計、生産技術、品質管理に携わる在職中の方
- スケジュール

実施日	時間	会場	内容
1日目	9:00～16:00	浜松技術専門学校	<ul style="list-style-type: none"><li>・寸法公差と幾何公差について</li><li>・幾何公差の図示表記と定義</li><li>・データム、公差域について</li><li>・真直度、平面度、真円度、円筒度、平行度、直角度、位置度、同軸度、対称度、円周振れについて</li></ul>
2日目			<ul style="list-style-type: none"><li>・最大実体公差<sup>Ⓜ</sup></li><li>・幾何公差の検査機能ゲージについて</li><li>・幾何公差とサイズによる図面作成（面基準・穴基準・軸基準）</li></ul>

※上記内容は変更になる場合があります。

- 講師……………公立大学法人静岡文化芸術大学 名誉教授 工学博士 望月達也 氏  
(研究分野：CAD/CAM/FP、デジタルモデリング(3D Modeling)、デジタルものづくり、機械設計製図)
- 定員……………10名
- 受講料……………2,200円(資料代等)  
※講習会初日に現金でお支払いください。

## ■ 申込方法

本校ホームページから受講申込書（PDF版・Excel版）を入手して必要事項を記入の上、直接来校されるか、FAX又は郵送（受付締め切り日必着）してください。

また、本校ホームページから電子申請で申込むこともできます。

- 受付期間……………【1回目】令和6年5月20日（月）より8月14日（水）まで  
【2回目】令和6年11月1日（金）より令和7年2月20日（木）まで  
（いずれも定員になり次第締め切ります。）

- 受付時間……………土・日・祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで  
（電子申請及びFAXは24時間受付）

## ■ 受講決定

講習会開始の概ね10日前までに通知します。

定員に達しない場合は中止することがあります。

また、新型コロナ等感染症拡大状況によっては、延期または中止することがあります。



## 静岡県立浜松技術専門学校 (浜松テクノカレッジ)

〒435-0056 浜松市中央区小池町2444-1  
TEL：053-462-5603  
FAX：053-462-5604

ホームページ <https://hamamatsu-tech.ac.jp>